



## 基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

### 新年度にあたり

院長 福治 康秀

2026年度が始まりました。異動で他の施設に行かれた方もいますし、新たに来られた方も多くいます。新メンバーで心新たに、よりよい医療やサービスの提供を続けます。関連機関のみなさん、今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

国からは、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」が提示され、地域移行が着実に進んでいます。当院も、アウトリーチを推進すると同時に、各関連機関とのさらなる連携、そして各種専門医療と精神科救急の充実を進めます。地域で、患者さんもスタッフも生き生きと生活できるよう、病院が地域に広がり、医療やサービスを届けます。そのために多職種連携で取り組みます。訪問看護・ACT・地域精神医療、治療抵抗性統合失調症(クロザピン・m-ECT)、アルコール・薬物依存症医療、児童・思春期精神医療、認知症医療、司法精神医療(医療観察法入院・通院、鑑定)、重症心身障がい児(者)医療(強度行動障害)、精神科救急医療、そしてDPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team 災害派遣精神医療チーム)を担います。rTMS(反復経頭蓋磁気刺激)治療を引き続き行います。この治療は、既存の抗うつ薬による薬物療法によっても、期待される治療効果が認められない中等症以上の成人(18歳以上)のうつ病(うつ病エピソード、および反復性うつ病性障害)が対象疾患となります。この治療を施行した方々皆さんが効果を示しております。rTMS治療で改善する方が増えるよう、取り組んでまいります。治療抵抗性うつ病の方がおられましたら、ご紹介ください。

教育・研修にも引き続きしっかり取り組みます。医師で言えば、医学生実習、初期研修、そして専門研修を受け入れ、しっかり経験と知識を身につけてもらい成長に寄与します。また、医師に限らず、看護やコメディカル、その他すべてのスタッフの成長と同時に、他から受け入れる実習生や研修生の成長にも寄与します。みなが成長し続ける病院であり続けます。

今年度も、地域のニーズに応じた医療・サービスを届けるべく、公的医療機関として役割を果たします。そのためにも、各関連機関の皆さまとはさらなる連携が重要となります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

#### ● 地域連携室だより

精神保健福祉士 森根 薫

地域医療連携室では初診の相談だけではなく通院中、入院中の方の経済的な相談、就労に関しての相談、社会資源に関しての相談など様々な相談をお受けしています。患者さんやご家族の方、支援者からの相談など様々な方からのご相談があります。初診ははじめ、受診については予約制となっておりますが、入院治療のご相談など迅速に対応できるよう心掛けてまいりますので、お気軽に医事課隣の地域医療連携室までお困り事がございましたらぜひお気軽にお声かけください。

#### 院長



ふくじ やすひで  
福治 康秀

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。  
日本森田療法学会理事。  
日本病院・地域精神医学会理事。  
琉球大学医学部 臨床教授。

#### 診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・クロザリル外来
- ・アルコール依存症等外来

#### 病床数

353床

- ・精神 151床  
(一般精神・クロザピン専門・精神科救急)
- ・アルコール依存症 44床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身障がい 90床
- ・医療観察法 37床



**路線バス** 那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分

**自動車** 那覇市から40分沖縄自動車道道金武インターから名護向け5分

#### お問い合わせ

時間 **8:30 ~ 17:15**  
(土・日・祝日・年末年始以外)  
TEL **098-968-2133(代)**  
内線 **231・234**

#### 地域医療連携室(直通)

TEL **098-968-3550**  
FAX **098-968-7370**

## 治療抵抗性精神疾患への医療

精神科医長 木田 直也



### クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症の患者さんに対して、当院では2010年からクロザピン(CLZ)治療を開始し、登録症例数は延べ451例になりました。2026年2月のCLZ登録症例は1例でした。CLZ導入前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために、隔離や身体拘束が必要な患者さんも多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動が消失、もしくは軽減し、ほとんどの症例で隔離や身体拘束は解除できています。週に3回のCLZ専門外来も行っていますので、患者さんのご紹介をお願いいたします。当院でのCLZ治療や沖縄県での地域連携の実際については、ノバルティスファーマ社の医療関係者向けサイトのクロザリル/クロザリル適正使用の流れ(<https://www.drugs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/point/>)でも動画が公開されていますので、ご参照ください。

## 「マイナビ看護学生就職セミナー」に参加

教育担当師長 砂川 静香

2月28日に沖縄コンベンションセンターで開催されたマイナビ看護学生向けの合同就職説明会へ参加しました。当日は多くの学生が来場し、興味のある病院ブースを訪れて熱心に説明を聞く姿が見られました。琉球病院は沖縄病院と共同で出展し、国立病院機構全体の魅力や当院が大切にしている看護の特徴、働き方について紹介しました。学生からは勤務体制や教育体制キャリア支援に対する質問がありました。

今回の説明会を通して琉球病院の看護をより多くの学生に知ってもらおう機会となり、今後の看護職員獲得にもつなげていきたいと思ひます。



## こども心療科のご紹介

心理療法士 新城 架乃

こども診療科では、15歳までのお子さんを対象に診察・治療を行っております。お子さんが健やかにその子らしく成長できるようご家族や学校の方々とも、発育や発達状況の捉え方、状態にあわせた関わり方を一緒に考えます。以下のようなお悩みやその他にも気になることがあればお気軽にご相談ください。

### 〈お子さんのこんなことが気になる〉

就学前・学齢期…言葉の発達、落ち着きがない、友達と遊べない、こだわりが強い、就園・就学についてなど  
思春期……………学校に行きたくない、友達とうまくいかない、他人の視線が気になる、気分が沈んでいる、自分を傷つけてしまうなど

### 〈当院でのアプローチ〉

発達状況や情緒、行動面の特徴について相談・評価・診断を行います。また、自分自身についての悩みや不安、仲間関係や異性関係、親子葛藤など思春期の不安や適応の問題について、お子さんの希望をふまえながら相談や対応をしていきます。

## 院内防災訓練のご報告

心理療法士(日本DPAT・業務調整員) 前上里 泰史

例年11月の津波防災の日に当院では院内防災訓練を実施しておりますが、今年度は2月に実施しました。昨年は院内の被災状況の集約とアセスメントが課題としてあげられたため、今年度はその課題をクリアすることを目標に訓練を実施しました。当日の訓練に至るまでに、毎月開催している災害対策委員会で各部署から参加するメンバーに緊急点検報告書の用途について理解いただき、訓練当日所属長と共有するよう周知しました。訓練当日は沖縄県内で津波による大規模災害が発生したというシナリオで、院内の被災状況について情報収集し、診療を維持するか、籠城するか、避難するかアセスメント方法を確認しながら訓練を進めました。その結果、病院評価と方針を明示することができ、課題はクリアすることができました。

1時間弱の訓練でしたが、課題をクリアできた要因として、毎月実施している災害対策委員会が院内の防災意識や災害対応の意識向上につながっていること、訓練の目的とクリアしたい課題を短時間の訓練で達成できるよう小さく焦点化したこと、そのために何をどうするのか手順を簡潔に分かりやすく実施者に伝えることができたことなどがあげられました。職員の異動等ありますが、職員が変わっても災害対応ができるよう今後も訓練を続けていきたいと思ひます。

